

## 化学人材育成プログラムのご紹介

### ◆経 緯

化学人材育成プログラムの創設は、2007年に経済産業省と文部科学省との協賛による「産学人材育成パートナーシップ」が創設されて、人材育成に関わる産学双方の横断的な課題について幅広く議論されたことに始まります。その後、2009年に経済産業省が設置した「化学ビジョン研究会」に議論が引き継がれ、2010年4月に取りまとめられた報告書の中で、化学産業が取組むべき課題の一つとして技術力の強化が挙げられ、その具体的施策として「化学人材育成プログラム」が提言されました。これを受けて、2010年10月に日本化学工業協会に「化学人材育成プログラム」が創設されました。

### ◆趣 旨

化学人材育成プログラムは、日本の化学産業における国際競争力の強化と産業振興の基盤となる若手人材の育成を目的に、化学産業界が求める人材ニーズを大学に発信し、これに応える大学院専攻とその学生を産業界が支援するものです。

#### 【化学産業界が求める高度理系人材像】

- ① 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的学力を持つ人材
- ② 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- ③ リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- ④ グローバルな感覚を持った人材

### ◆化学人材育成プログラム協議会

化学人材育成プログラムに賛同する日本化学工業協会の会員36社が参加して、化学人材育成プログラム協議会を運営しています。

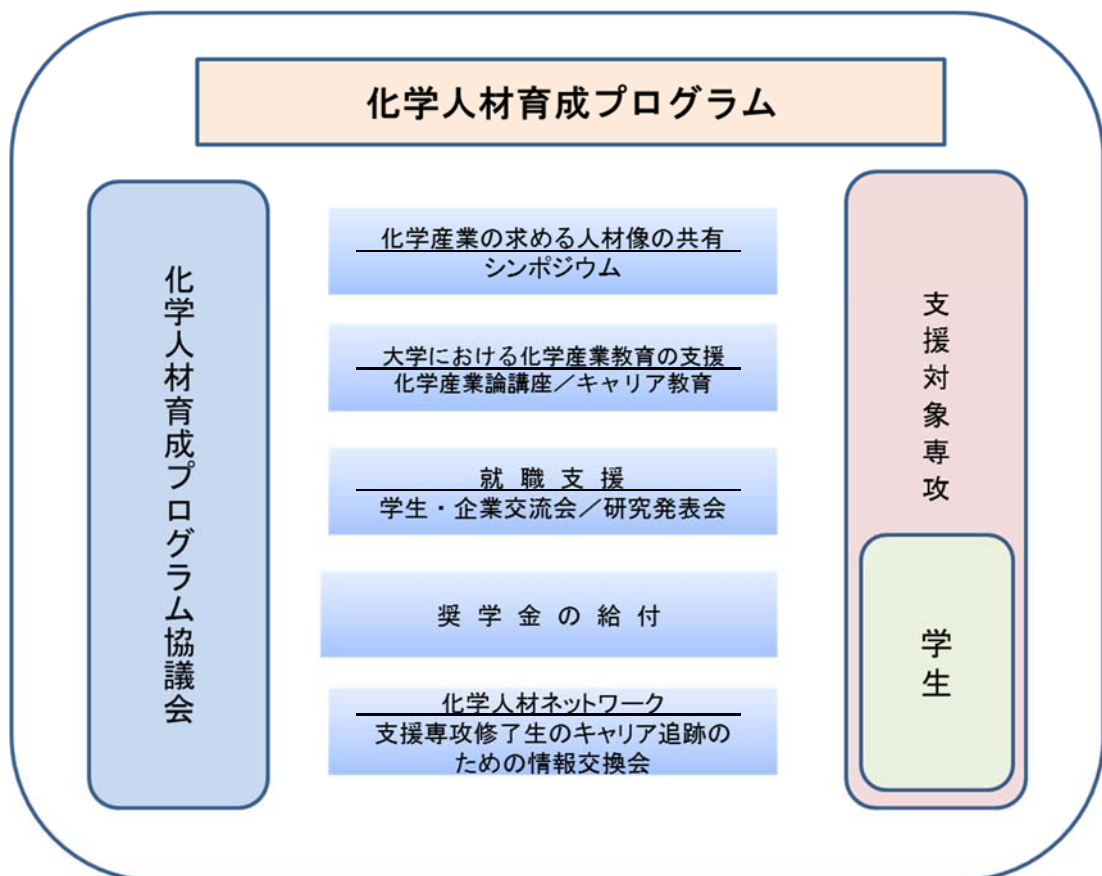
旭 化 成	旭 硝 子	A D E K A	宇 部 興 産
花 王	カ ネ カ	ク ラ レ	ク レ ハ
三 洋 化 成 工 業	昭 和 電 工	信 越 化 学 工 業	J S R
JXTG エネルギー	J N C	住 友 化 学	住 友 ベ ー ク ラ イ ト
積 水 化 学 工 業	ダ イ セ ル	D I C	デ ン カ
東 亞 合 成	東 ソ ー 東	レ ト	ク ヤ マ
日 油	日 産 化 学 工 業	日 東 電 工	日 本 化 薬
日 本 触 媒	日 本 ゼ オ ン	日 立 化 成	富 士 フ ィ ル ム
三 井 化 学	三 菱 ガ ス 化 学	三 菱 ケ ミ カ ル	ラ イ オ ン

(株式会社省略)

会 長	石 飛 修 (日本化学工業協会 会長、住友化学株式会社 会長)		
会 長 代 行	織 田 佳 明 (住友化学株式会社 執行役員)		
幹 事 会	会長の委嘱を受けた幹事会委員により構成し、事業計画案、予算案等を作成		
審 査 委 員 会	会長の委嘱を受けた会員企業が選出した審査委員並びに会長が委嘱した有識者委員により構成し、化学産業が望ましいと考える教育及び人材育成を行っている大学院専攻を支援対象に選定		
そ の 他	必要により作業部会を設置		
後 援	経済産業省	文部科学省	公益社団法人日本化学会 公益社団法人化学工学会 公益社団法人高分子学会

## ◆プログラムの詳細内容

1. 化学産業界が求める高度理系人材像の発信と産学の共有、及び大学院専攻における高度理系人材育成の先進事例の横展開のためのシンポジウムの開催
2. 支援対象専攻の優れた取組みを日化協HPに掲載
3. 化学産業教育の支援(化学産業の魅力、化学産業界が求める高度理系人材像、キャリアパスなどを発信)
4. 化学産業(企業)の理解浸透及びキャリアデザイン支援のための学生・企業交流会の開催
5. 学生の研究活動に関して、学生と企業との交流の機会を提供するための研究発表会の開催
6. 支援対象専攻の中から、特に優れた人材育成の取組みを行っている専攻を選定し、各専攻から推薦された学生に対して奨学金を給付  
(1 学生あたり月額 20 万円を 3 年間支給、1 専攻あたり 1 学年に 1 名を推薦)



◆実績

①支援対象専攻の優れた取組みを日化協のホームページ等に掲載

全国の大学院化学系専攻(博士後期課程)の中から、化学の基礎・応用研究と並行して、リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材、グローバルな感覚を持った人材育成など、化学産業界が望ましいと考える博士後期課程の教育カリキュラムを実践する大学院専攻を支援対象として選定し、その優れた取組みを日化協のホームページ等に掲載しています。

[支援対象専攻:15 大学院 27 専攻 (2017 年 4 月現在)]

大学院	研究科・府・院	専攻
北海道大学大学院	総合化学院	総合化学専攻
東北大学大学院	工学研究科	応用化学専攻・化学工学専攻 バイオ工学専攻
	理学研究科	化学専攻
千葉大学大学院	融合科学研究科	情報科学専攻
東京大学大学院	工学系研究科	応用化学専攻
		化学システム工学専攻
		化学生命工学専攻
	理学系研究科	化学専攻
東京工業大学大学院	総合理工学院	応用化学系
	総合理工学研究科	化学環境学専攻
	理工学研究科	応用化学専攻
		化学工学専攻 物質科学専攻
東京農工大学大学院	工学府	応用化学専攻
早稲田大学大学院	先進理工学研究科	応用化学専攻
横浜国立大学大学院	工学府	機能発現工学専攻
北陸先端科学技術大学院大学	マテリアルサイエンス研究科	マテリアルサイエンス専攻
京都大学大学院	工学研究科	合成・生物化学専攻
		材料化学専攻
奈良先端科学技術大学院大学	物質創成科学研究科	物質創成科学専攻
大阪大学大学院	基礎工学研究科	物質創成専攻
	工学研究科	応用化学専攻
	理学研究科	化学専攻
大阪市立大学大学院	理学研究科	物質分子系専攻
神戸大学大学院	理学研究科	化学専攻
九州大学大学院	工学府	物質創造工学専攻
	理学府	化学専攻

②化学産業(企業)の理解浸透及びキャリアデザインのための学生・企業交流会の開催

毎年、化学系専攻の博士後期課程学生の就職支援を目的に、学生・企業交流会を東京と大阪で開催しています。

- 企業説明:協議会企業の人事担当者、研究開発担当者が支援対象専攻の学生に対して、自社の研究開発内容や博士採用方針及び博士の入社後のキャリア等について説明
- ポスター発表:参加した学生の殆どがポスター発表を行い、自らの研究内容を企業にアピール
- 懇親会:学生と企業の情報交換



学生・企業交流会(2017年1月)

2016年度の開催状況は次の通りです。

- ・東京会場:2017年1月31日(火)開催 参加者:企業25社、学生17専攻73名
- ・大阪会場:2017年2月7日(火)開催 参加者:企業20社、学生9専攻30名

③学生と会員企業との交流の機会を提供するための研究発表会等の開催

以下のイベントを開催してきました。

イベント	時期	場所	内容
シンポジウム	2011年9月	東京 大阪	化学産業界、関係官庁、支援対象大学院専攻の各々による講演と講演者全員によるパネルディスカッション等
	2016年7月	東京	
シンポジウム & 研究発表会	2012年10月	東京	<シンポジウム> 博士人材の必要性、期待される人材像について講演 大学院教育カリキュラムの改革事例の紹介 <研究発表会> 支援対象専攻の博士後期課程学生による研究発表
研究発表会 & 博士活躍事例紹介	2013年10月 2014年10月 2015年10月 2016年11月	東京	<研究発表会> 支援対象専攻の博士後期課程学生による研究発表 <博士活躍事例紹介> 博士を修了して企業に入った若手研究者による、自身の担当テーマやキャリア、経験等の紹介

④奨学金の給付

これまでの奨学金給付実績は、以下の通りです。

年度	大学院専攻数	奨学生数
2011	3 大学院 4 専攻	4 名
2012	6 大学院 8 専攻	12 名
2013	10 大学院 12 専攻	24 名
2014	10 大学院 12 専攻	32 名
2015	10 大学院 13 専攻	35 名
2016	11 大学院 14 専攻	31 名



研究発表会&博士活躍事例紹介(2016年11月)

以上